

# 同窓会だより

卒業生総数：

21,498人

旧 中： 2,571人

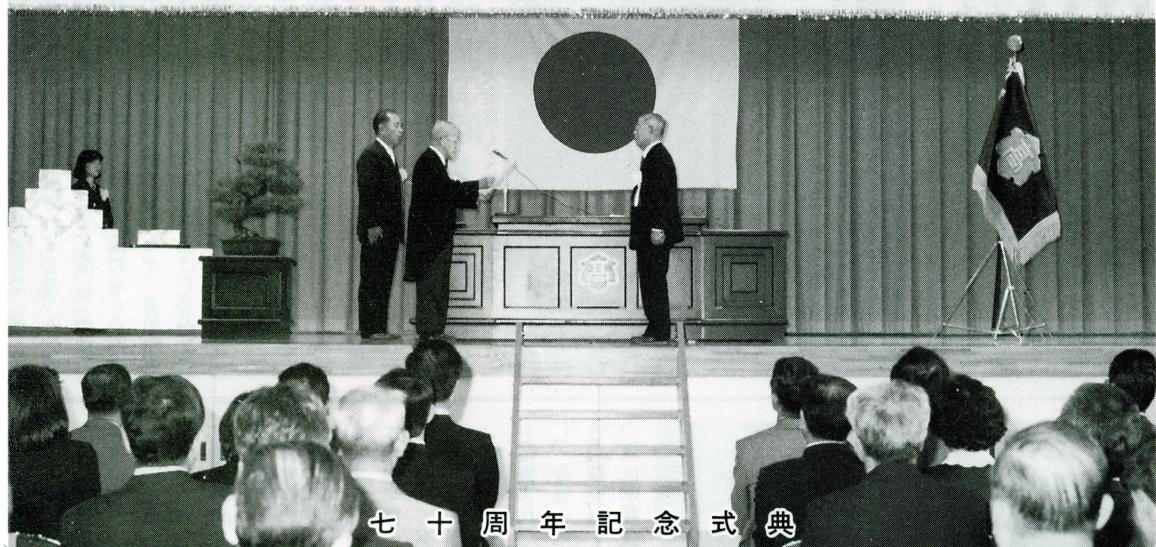
高 女： 2,592人

高 校： 16,335人

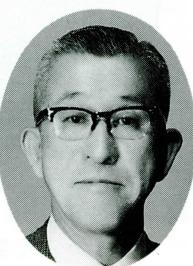
編集発行／岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局

(〒501-04 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL (0583) 24-1201)

## 祝創立70周年記念式



七十周年記念式典



ご 挨 捭

同窓会長

井 深 透

透

明けましておめでとうございます。

思い出深い母校を創立されました二万一千有余名の同窓会員の皆様には、平成三年の輝かしい新春を御健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

歳月の流れは誠に早いもので、母校本巣高校は創立以来七十年を経過致し、昨年十一月十日に創立七十周年記念式典が簡素の内にも厳粛に行われました。記念事業として、七十周年を機に会員名簿の改訂と六十周年以後十年間の歩みと教育成果を記載した記念誌が発行されました。

本校の十年間を振り返ってみると、六十周年を機に多くの方々の御支援により多年の希望でありました第二グランドが完成し、県下に例を見ない立派な広いグランドを有する学校となりました。また最新の施設を完備した家政科棟、更に昨年は新体育館も完成するなど教育環境は年をおつて整備され、文武両道を目指した教育効果は年々向上し、進学の実績及び部活動の全国的活躍など母校の発展は喜ばしい限りでございます。

同窓会の過ぎ去りし一年の歩みを御報告申し上げますと、本部総会は昨年八月十一日に岐阜の長良川畔の十八楼におきまして岐阜支部と合同で開催されました。当日の出席者は二百余名で新記録を達成致しました。総会には喜寿の齢を越えられた方々をお招き致しましたところ、七十余名の出席者がございまして母校の憶い出の写真を添付したアルバムを贈呈致しました。総会は盛大にかつ和やかなムードの内に世代の相違を乗り越えて思い出話に花が咲き、青春の時代に思いを馳せ、友情の絆が強められましたことは喜ばしいことと存じます。

関西支部の総会は昨年五月十三日に大阪の東洋ホテルで開催され、名古屋支部の総会は昨年六月十日に東急ホテルで、さらに京浜支部の総会は昨年十一月三十日に鉄鋼会館で、盛大に和氣藪々の内に開催されました。

同窓会は回を重ねる度に出席者が増加し、特に婦人の出席が多くなって参りましたことは喜ばしいことと存じます。  
寒さも今しばらく続きますが、何とぞ御健康に留意され御活躍御精進されまますよう祈念致しましてご挨拶と致します。

(平成三・一・一・記)

# 先輩に想う

学校長 小嶋 堯徳



平成二年十一月十日(土)、創立七十周年記念式典を、多数の来賓・同窓生・父兄並びに職員・生徒参列のもとに厳粛に挙行できましたことは、本校にとりまして誠に感慨深い喜びであり、感激でございました。

この七十年間に本校が社会に送り出した卒業生は、二万一千四百九十八名であります。これらの卒業生の方々が地元は申すまでもなく、全国各地でそれぞれの分野において活躍されておられることは、誠に心強く慶ばしい限りであります。このようすに本校が県下で旧制中学を前身とする五番目の古い歴史をもつ高等学校として、七十年の長きにわたって着実な歩みと發展をすることができましたのも、歴代同窓会長をはじめとし、同窓生の皆さんに感謝に堪えない次第であります。「同窓会だより」の紙上をお借りしてここに厚くお礼申し上げます。

記念式典を控えたある日、昭和六年三月と昭和十六年三月に旧制本巣中学校を卒業され

た同窓生がそれぞれ二〇名程別々に、懐かしの母校である本校を訪問されました。在学時代の思い出を留めるものは、「正門」「校庭の銀杏の木」と「学校の周囲の松の木」くらいしかないと申されておりましたが、五年間本校で学ばれた青春時代の思い出はしっかりと脳裏に刻まれている様子であり、「現在のテニスコートの場所に雨天体操場があった」「現在の家庭科棟の場所に図書館があつた」などと申され、次々と在学時代に利用されていた施設を思い起こしておられました。

校内に掲示されていた大学入試の合格状況や部活動等の活動成果を見られ、後輩の生徒諸君が「文武両道」の校訓のもとに活躍していることを大変喜んでおられました。

先輩は、在学時代所属されていた部が現在大活躍しているのを知つて、自分のことのように喜んでおられました。当初予定されていた時間過ぎていてことも忘れ、貢献母校を後にするのを本当に惜んでおられました。卒業してから五十年、六十年になろうとしている母校を訪ね、本当に楽しそうにしておられる

先輩達を目の前にして、卒業生の母校に寄せる思いは、格別なものがあると改めて知られました。訪問された折に家庭クラブの女子生徒が、手作りによる、お菓子を土産として、先輩一人一人にお渡しいたしました。年齢的には孫に当たる生徒達の厚意に対し大変感謝しておられる先輩達の姿がとても印象的で、あり、今でもはつきり瞼に浮かんで来ます。

同窓生の皆さんにおかれましては、健康留意され創立八十周年記念式典には多数の御参列を希望し、母校發展のため今後も変わらぬ御厚情を賜りますようお願い申し上げます。

# 伝統の継承と発展を

## —「七十周年記念式典」挙行—

夜來の雨も上がり、澄んだ青空に光きらめく十一月十日(土)、本巣高校体育馆において来賓・生徒・職員合わせて千六百余名が参列し、本巣高校創立七十周年記念式典が挙行された。

まず実行委員長である井深透同窓会長が、本巣中学第一回卒業生として、七十年の長きにわたって本校の歩みを見守り、その発展に心血を注いで来られた感慨を語られ、記念誌「松樹七十年」と「同窓会会員名簿」の発行を報告された。また同窓会活動の現状を説明し、今後の同窓会会館の建設と本校のさらなる飛躍発展を願い挨拶を終えられた。

次に学校長が、本校の發展に御尽力頂いた

県の関係各位並びに同窓会・PTA・地域の方々に深い謝意を述べられ、生徒達には、本巣高校としての誇りをもつて、新しい歴史の創造を目指すよう呼びかけられた。さらに職員を代表して、生徒と共にさらなる發展のために渾身の努力をしていく決意を語られた。

渡辺孝県教育委員会委員長から「主体的に心豊かな人材の育成を」という御挨拶を頂き、また本校同窓生の杉山友一県議会文教警察委員長からも懇切な祝辞を頂いた。

その後、六十周年以降本校の教育に功績の厚かった方々に対して感謝状及び記念品の贈呈が行われた。

まず特別功労者として、加藤記念奨学会を設立し十三年にわたって後輩の育成と本校教育活動に多大の貢献をされた加藤利一氏(本巣中学四回生)に感謝状が贈呈された。加藤氏はお礼の言葉の中で、人間として生きるべき道を説かれ、「志を高く掲げ、信念をもつて努力精進せよ」と激励され、生徒に深い感銘を与えられた。

引き続いて歴代学校長(四名)、永年勤続職員(四十二名)、同窓会(十四名)、PTA(七名)の功労者が順に表彰され、関谷美智男元校長先生がお礼の言葉を述べられた。

最後に全員で校歌を歌い、県下有数の本巣高校の伝統の継承と新たな发展を誓い合つて、厳粛な式典を終えた。



記念誌・会員名簿



